

J R 東海労  
大二運分会

# 交差点

No. 183  
2008年 6月2日  
責任者：高原弘幸  
発行：教宣部

## 「訓練のための訓練」??・・・ しかも『自己の時間』とは!!

6月の運転士訓練で300系のシミュレータ訓練が2日から実施されています。それに先立ち各運輸所では300系シミュレータ訓練装置の開放が掲示（指導掲示12号）されました。大二運でも、5月20日～25日の午前と午後の開放となっていました。そもそも、本来の訓練でやることを、何故今月末の訓練装置開放でやるのでしょうか？しかも、参加については『自己の時間で』と謳っています。以前、の交差点でも再三明らかにしてきましたが、やたらと『自己の時間』を活用した諸々のサービス労働が増えていますが、事前に「訓練のための訓練」を申し込まなければ、今回のシミュレータ訓練では不合格になるということでしょうか？

世界の「トヨタ」も、この間、QC活動について社員に対して『自己の時間』で行わせていたのが、今月からは、残業代を支給することを決定しました。これに伴い、他の企業（スズキ、コマツなど）も検討へと進んでいます。この実態を見ていくと、我がJR東海の取り組みが、他の一流企業と逆行した方向へと進んでいると言わざるを得ません。また、会社は、「掲示そのものが、業務指示」であるかのように、さらに高飛車な対応に出てきています。

定例で行われている5月の知識確認（他のJRでは行われていない）でも、不合格者は、フォローするので『自己の時間』で指導科に来るように指導し、不合格者が、「どこが間違ったのかわからないので、試験のペーパーを返して欲しい」と言っても、「試験のペーパーは返しません。」という対応です。（もともと密室での採点の上、疑念が止まない中）これでは本当に試験に不合格なのかどうなのかも納得いかないのは無理ありません！

**「試験」（業務）の合否を巧みに利用したサービス労働に物申す！  
「必要な教育なら、それに必要な労働時間を付けて行え！！」**